

科目名	専門総合演習 「家族理解のためのアセスメント・基本編」		担当教員	佐藤隆司		
			担当形態	単独		
テキスト	適宜紹介。 必要に応じて資料配布。	単位数 授業形態	2単位	演習	開講時期	前期
<p><b>講義概要</b></p> <p><b>■到達目標</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童虐待の定義を理解し説明する。</li> <li>2. 児童虐待の防止等に関する法律の理解と児童虐待対応のための早期発見、相談・通告、介入などの相談援助過程を理解する。</li> <li>3. ジェノグラムの基本記号と描き方を習得して使える。</li> </ol> <p><b>■授業の概要</b></p> <p>新聞・テレビなどは、連日の如く虐待又は子どもの権利侵害などの事件を報道する。本授業は、直接、保育士業務に関係する「児童の人権を著しく侵害し、その心身の成長及び人格の形成に重大な影響を与える」児童虐待の基本的理解と、虐待に至る背景、早期発見、相談・通告、実際の援助の留意事項などを学習する。</p> <p>前半は講義中心、後半は家族アセスメントのためのツールに関して体験学習する。</p> <p><b>■授業計画</b></p> <p>第1回 児童虐待の基本理解① 定義          第2回 児童虐待の基本理解② 虐待の影響          第3回 児童虐待の防止等に関する法律の理解① 早期発見、相談・通告          第4回 児童虐待の防止等に関する法律の理解② 介入、相談援助          第5回 家族理解の基本① 家族構造理論          第6回 家族理解の基本② 家族構造理論          第7回 家族理解のためのアセスメント① ジェノグラムの描き方（基本事項）          第8回 家族理解のためのアセスメント② ジェノグラムの描き方（基本標記）          第9回 家族理解のためのアセスメント③ ジェノグラムの描き方、ジェノグラムインタビュー（基本編）          第10回 家族理解のためのアセスメント④ ジェノグラムの描き方、ジェノグラムインタビュー（応用編）          第11回 家族理解のためのアセスメント⑤ 世代間境界          第12回 家族理解のためのアセスメント⑥ サブシステム          第13回 家族理解のためのアセスメント⑦ パワー          第14回 家族理解のためのアセスメント⑧ 構造的メカニズムの特徴          第15回 総括</p> <p><b>■準備学習</b></p> <p>前回授業の復習と次回授業の予習。          「分からない」は「(何が) 分からない」と明確化して授業に取り組むこととする。</p> <p><b>■評価方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業参加（授業中の意欲・態度） — 40%</li> <li>・ 課題提出（提出期限厳守） — 60%</li> </ul>						
参考文献	厚生労働省雇用均等・児童家庭局「児童相談所運営指針」平成28年9月29日改正版 厚生労働省雇用均等・児童家庭局「市町村児童家庭相談援助指針」平成28年10月31日改正版 厚生労働省雇用均等・児童家庭局「子ども虐待対応の手引き」平成25年8月改正版 M・マクゴールドリック+R・ガーソン+S・シェレンバーガー著/石川 元+佐野祐華+劉イ-リン訳「ジェノグラム（家系図）の臨床」ミネルヴァ書房、2009年 早稲一男「対人援助職のためのジェノグラム入門 家族援助と相談援助に役立つツールの活かし方」中央法規、2016年		特記事項	・一部、画像、DVDなどを題材にディスカッションするため授業への積極的発言を期待する。 ・私語、飲食、化粧、途中退室、電子機器使用などは禁止。 【課題等のフィードバック方法】 適宜報告に関してコメントする。		
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修		幼			
			保			